

施設カルテの見方

施設カルテの見方について、カルテの1・2面の例を掲載し各情報の項目を説明します。

1面

①

霧島市公共施設カルテ		調査年度	令和2年度
施設名	霧島市国分総合福祉センター		
所在地	国分中央三丁目33-10		
中学校区	舞鶴中		
所管課	保健福祉政策課		
施設 ID	316		
施設分類	大分類	保健・福祉施設	
	中分類	その他社会福祉施設	
	小分類	福祉センター	
施設外観			

②

施設基本情報						※印は主たる建物の情報	
開設年月日	1998年4月1日	避難所指定	有	駐車場台数	24		
敷地面積 (㎡)	5,101	うち借地面積 (㎡)	—	用途地域	商業地域		
建物構造 ※	鉄筋コンクリート造	階数 ※	地上3階	建築年度 ※	1998		
延床面積 (㎡) (A)	2,538	経過年数 ※	22	棟数	4棟		
耐震基準	新基準	耐震診断	—	耐震改修	—		
バリアフリー対応				子育て支援対応			
スロープ	エレベーター	多目的トイレ	身障者用駐車場	手すり	授乳場所	おむつ交換場所	
○	○	○	○	○	×	×	
施設構成棟	新館・旧館・コスモス園・趣味センター						
複合・併設施設							

③

運営情報						
管理運営形態	指定管理者	指定管理者	霧島市社会福祉協議会	施設点検	屋根・屋上	B
利用時間	9:00~21:00	休館日	12月29日から1月3日	結果	外壁	B

④

施設利用状況			
項目	H29	H30	R1
年間利用者数 (B)	37,860	39,941	36,224
年間利用コマ数	10,765	10,406	9,480
年間利用可能コマ数	48,120	48,120	48,246
稼働率 (%)	22.4%	21.6%	19.6%

⑤

コスト情報					(単位:円)	
区分		H29	H30	R1	利用者1人あたりの施設コスト (E) ÷ (B)	
収入 (F)	市の施設使用料 (C)	727,840	661,380	586,680	588.5 円/人	
	財産貸付料				利用者1人あたりの負担額 (C+D) ÷ (B)	
	その他収入	12,995	13,135	13,374	16.20 円/人	
	合計	740,835	674,515	600,054	市民1人あたりの施設コスト (E) ÷ 人口	
指定管理者 利用料収入 (D)				0	170.4 円/人	
合計		740,835	674,515	600,054	延床面積 1㎡あたりの施設コスト (E) ÷ (A)	
支出 (G)	人件費				8,399.2 円/㎡	
	光熱水費					
	施設等保守管理委託					
	修繕料等	712,800	2,592,000			
	建物保険料	21,150	21,243	21,909		
	その他					
指定管理料		22,423,050	20,399,140	21,295,158		
合計 (E)		23,157,000	23,012,383	21,317,067		
収支差額 (F) - (G)		-22,416,165	-22,337,868	-20,717,013		

施設基本情報

番号	項目	説明	
①	調査年度	調査を実施した年度です。	
	施設名	施設の名称です。	
	所在地	施設の所在地（住所）です。	
	中学校区	施設所在地の中学校区です。	
	所管課	施設を所管する課等です。	
	施設 I D	多くの施設情報を整理するために設定した番号です。	
	施設分類	施設の利用用途で大分類、中分類、小分類に分類しています。	
② 施設基本情報	開設年月日	施設が供用開始された日付です。詳細が不明な場合は建築年等を表示しています。	
	避難所指定	霧島市地域防災計画上の避難所指定の有無を表示しています。	
	駐車場台数	施設敷地内または隣接駐車場等の駐車可能台数です。	
	敷地面積	施設がある土地の面積です。	
	うち借地面積(m ²)	敷地面積のうち、他者から借りている面積です。	
	用途地域	施設所在地の都市計画法で定める用途地域です。	
	建物構造	施設（複数棟の場合は主たる建物）の主体構造です。木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造・コンクリートブロック造・鉄骨鉄筋コンクリート造の5つに分類しています。	
	階数	主たる建物の階数です。	
	建築年度	施設（複数棟の場合は主たる建物）の建築年度です。	
	延床面積(m ²)	施設全体（複数棟の場合は各棟合計）の床面積です。	
	経過年数	施設（複数棟の場合は主たる建物）が建築されてからの経過年数です。	
	棟数	施設を構成する建物の合計棟数です。	
	耐震基準	昭和56年6月の建築基準法改正以前に建設された施設を「旧基準」、同法改正以降に建設された施設を「新基準」と表示しています。	
	耐震診断	主たる建物の耐震診断の実施状況等を表示します。「実施済」「未実施」「不要」「不明」「－」の5分類しています。新基準の場合のみ、「－」表示となります。	
	耐震改修	主たる建物の耐震改修の実施状況等を表示します。「実施済」「未実施」「不要」「不明」「－」の5分類しています。新基準の場合のみ、「－」表示となります。	
	バリアフリー対応	スロープ	施設のバリアフリー化の状況について、各設備の設置状況の有無を表示しています。設置してある場合には「○」、設置していない場合は「×」となります。エレベーターの場合は、平屋に限り「－」表示となります。
		エレベーター	
		多目的トイレ	
		身障者用駐車場	
		手すり	
子育て支援対応	授乳場所	施設の子育て支援対応の状況について、各設備の設置状況の有無を表示しています。	
	おむつ交換場所	設置してある場合には「○」、設置していない場合は「×」となります。	
施設構成棟	施設を構成する各建物の名称です。		
複合・併設施設	一つの施設に異なる機能（例：市役所・公民館等）がある場合の、施設の総称と各機能です。		

運営情報・施設利用状況・コスト情報

番号	項目	説明	
③ 運営 情報	管理運営形態	施設の管理運営形態について、「直営」「指定管理」「貸付（有償）」「貸付（無償）」「管理委託契約」の5つに分類しています。	
	指定管理者	指定管理者制度により運営している場合の指定管理者になります。	
	利用時間	施設を利用できる時間になります。 施設によっては、時期や部屋毎に利用時間が異なる場合があります。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。	
	休館日	施設が利用できない日になります。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります（利用ができない日ではなく、利用ができる日を表示している等）。	
	施設点検結果 (屋根・屋上)および(外壁)	建物や設備の劣化状況を確認する施設点検を行い、屋根・屋上部分と外壁部分のそれぞれの劣化状況に応じて、A～Dの4段階評価を表示しています。	
④ 施設 利用 状況	年間利用者数	1年間の施設の延べ利用者数です。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。	
	年間利用コマ数	施設の利用時間の単位をコマとして、1年間に利用されたコマ数の合計です。施設内に複数の機能（例：集会室と体育館等）がある場合は、各機能で利用があったコマ数の合計です。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。	
	年間利用可能コマ数	施設の利用時間の単位をコマとして、年間で利用可能な最大コマ数を表しています。施設内に複数の機能がある場合はその合計コマ数です。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。	
	稼働率	「年間利用コマ数÷年間利用可能コマ数」で計算する、施設の稼働率です。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。	
⑤ コスト 情報	収入	施設使用料	施設や施設敷地内の本来の目的に対する利用料金です。
		財産貸付料	土地・建物を貸し付けた場合の貸付料です。
		その他収入	上記の収入項目以外の収入です。
		指定管理者 利用料収入	施設の利用者が指定管理者に支払う利用料です。
	支出	人件費	施設の維持管理、事業運営に従事する職員の人件費です。
		光熱水費	施設で使用する電気・ガス・上下水道・燃料の代金です。
		施設等保守管理委託料	施設の保守管理を委託した費用です。
		修繕料等	建物の壊れた箇所や設備の修理・更新、改修工事や機能強化等にかかった費用です。
		建物保険料	建物の損害保険料です。
		その他経費	上記の支出項目以外の経費です。
		指定管理料	指定管理者制度により運営している場合の指定管理料です。
	利用者1人あたりの施設コスト	市の支出の合計を年間利用者数で割った利用者1人あたりのコストです。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。	
	利用者1人あたりの負担額	施設の使用料と指定管理者利用料収入を年間利用者数で割った利用者1人あたりの負担額です。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。	
市民1人あたりの施設コスト	市の支出の合計を市の総人口で割った市民1人あたりのコストです。※市の人口は平成31年4月1日現在の住民基本台帳人口を用いています。		
延床面積1㎡あたりの施設コスト	市の支出の合計を施設の延床面積で割った延床面積1㎡あたりのコストです。		

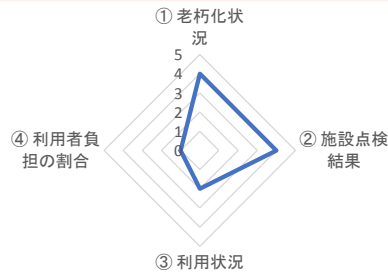
⑥

備考
食品加工室は17時まで。浴室は正午から17時までの利用時間。

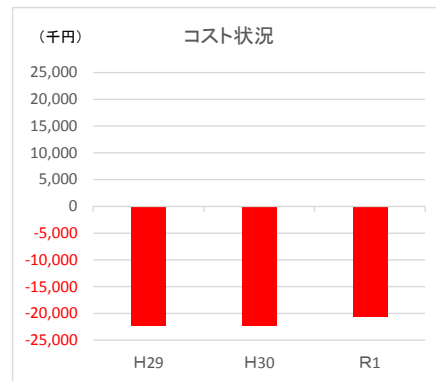
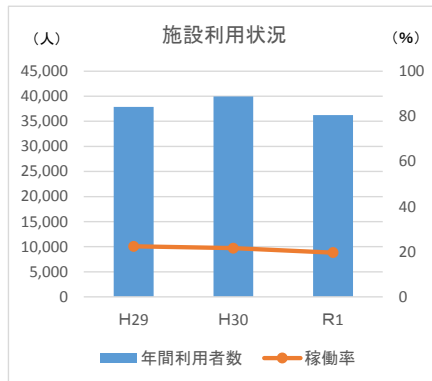
⑦

データ分析

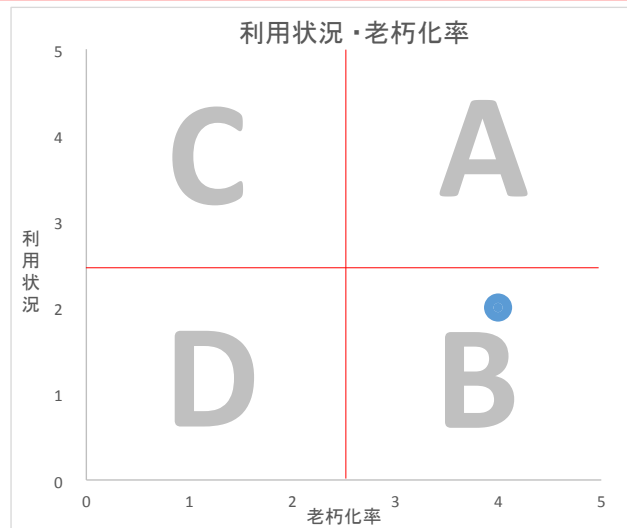
項目	評価点
① 老朽化状況	4
② 施設点検結果	4
③ 利用状況	2
④ 利用者負担の割合	1



⑧



⑨



データ分析等

番号	項目	説明															
⑥	備考	施設カルテの情報以外で特記事項がある場合に記載しています。															
⑦ デ ー タ 分 析	老朽化状況	減価償却による耐用年数に対する建築後の経過年数の割合と、建物の耐震性能による5段階評価です。複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟（主たる建物）のデータで算定しています。 3以上を青色、2を黄色、1及び評価不可を赤色で表しています。															
	施設点検結果	施設点検の結果をもとに劣化状況から現況劣化度を算定し、点数化したものによる5段階評価です。（屋根・屋上）と（外壁）2部位の点検結果を使用しています。 3以上を青色、2を黄色、1及び評価不可を赤色で表しています。															
	利用状況	年間の利用者数や定員に対する入所率、貸室の稼働率など施設の特性に応じた指標による5段階評価です。 3以上を青色、2を黄色、1以下及び評価不可を赤色で表しています。															
	利用者負担の割合	施設の維持管理・運営の費用に対する利用者負担の割合による5段階評価です。 (i:使用料 + ii:指定管理者利用料収入) ÷ iii:市の支出の合計 3以上を青色、2を黄色、1及び評価不可を赤色で表しています。															
	右図(レーダーチャート)の見方	左のデータ分析表の各項目の評価点を、右の図（レーダーチャート）で表しています。各項目の中で一番高い評価点がレーダーチャートの最高点（一番外側）となります。例えば、各項目の評価点が3の場合、レーダーチャートの一番外側が3になるなど、施設ごとに見方が異なります。															
⑧	施設利用状況	過去3カ年度の施設利用者数及び施設稼働率の推移をグラフで表しています。 ※施設によっては、表示内容を変更している施設があります。															
	コスト状況	過去3カ年度の収支状況の推移をグラフで表しています。															
⑨	ポートフォリオ分析	<p>施設の利用状況と老朽化率による分析内容を4つの評価に分類しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>良好な状態と考えられる</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>施設は新しいが、利用が少ない</td> <td>検証必要</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>老朽が進行中であるものの、利用が多い</td> <td>検証必要</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>老朽が進み、利用も少ない</td> <td>施設のあり方を検討する必要がある</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	状況	A	良好な状態と考えられる	現状維持	B	施設は新しいが、利用が少ない	検証必要	C	老朽が進行中であるものの、利用が多い	検証必要	D	老朽が進み、利用も少ない	施設のあり方を検討する必要がある
区分	内容	状況															
A	良好な状態と考えられる	現状維持															
B	施設は新しいが、利用が少ない	検証必要															
C	老朽が進行中であるものの、利用が多い	検証必要															
D	老朽が進み、利用も少ない	施設のあり方を検討する必要がある															